

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究 I	1年次春学期 (1セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等	
2	資本主義経済と企業(1)	企業経営学の本質 研究対象	
3	資本主義経済と企業(2)	企業経営学の本質 研究対象	
4	経営学の成立(1)	理論と現象	
5	経営学の成立(2)	理論の性質	
6	経済生活	経済生活の重要性	
7	経済と技術	技術的法則と経済的法則	
8	生産	生産の重要性	
9	生産の二重性	五つの社会	
10	資本主義経済学(1)	広義の経済学と狭義の経済学	
11	資本主義経済学(2)	資本主義経済学	
12	個別経済学と社会経済学	個別経済の種類	
13	個別経済の二重性	個別経済の二面性	
14	企業経営学の成立	個別経済の社会経済的分析	
15	総括	まとめ、質疑応答	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究Ⅱ	1年次秋学期 (2セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等	
2	企業経営学の成立(1)	個別経済の社会経済的分析	
3	企業経営学の成立(2)	経営学の成立	
4	企業経営学説	概説	
5	アメリカ経営学(1)	各学説の内容・問題点	
6	アメリカ経営学(2)	各学説の内容・問題点	
7	アメリカ経営学(3)	各学説の内容・問題点	
8	ドイツ経営学(1)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦前の経営学説)	
9	ドイツ経営学(2)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦前の経営学説)	
10	ドイツ経営学(3)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦後の経営学説)	
11	ドイツ経営社会学(1)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦前の経営社会学)	
12	ドイツ経営社会学(2)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦後の経営社会学)	
13	ドイツ経営政策(1)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦前の経営政策)	
14	ドイツ経営政策(2)	各学説の内容・問題点(第二次世界大戦後の経営政策)	
15	総括	まとめ、質疑応答	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究Ⅲ	2年次春学期 (3セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等	
2	個別資本学派(1)	各学説の内容・問題点	
3	個別資本学派(2)	各学説の内容・問題点	
4	個別資本学派(3)	各学説の内容・問題点	
5	個別資本学派(4)	各学説の内容・問題点	
6	個別資本学派(5)	各学説の内容・問題点	
7	個別資本学派(6)	各学説の内容・問題点	
8	企業経営学	研究対象	
9	社会的個別資本(1)	個別資本の運動法則	
10	社会的個別資本(2)	三つの型	
11	独占的企業経営学(1)	工業経営学の重要性	
12	独占的企業経営学(2)	工業経営学の重要性	
13	中小企業経営学(1)	中小企業経営学の性格	
14	中小企業経営学(2)	中小企業経営学の特質・形態	
15	総括	まとめ、質疑応答	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究Ⅳ	2年次秋学期 (4セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等	
2	企業経営形態論	企業経営形態の意義	
3	企業経営の所有形態(1)	独占資本主義以前の企業経営所有形態	
4	企業経営の所有形態(2)	個人企業、合名会社、合資会社	
5	企業経営の所有形態(3)	株式会社	
6	企業経営の所有形態(4)	株式会社	
7	企業経営の所有形態(5)	株式会社	
8	独占資本主義的企業経営の所有形態(1)	独占的企業と非独占的企業	
9	独占資本主義的企業経営の所有形態(2)	独占段階における株式会社	
10	国家独占資本主義企業経済(1)	公企業	
11	国家独占資本主義企業経済(2)	公私合同企業	
12	協同組合(1)	協同組合の発生	
13	協同組合(2)	協同組合の存在意義	
14	協同組合(3)	協同組合の形態	
15	総括	まとめ、質疑応答	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究 V	3年次春学期 (5セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
項目	内容		
1 ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等		
2 企業経営の所有形態(1)	産業資本主義的企業経営形態		
3 企業経営の所有形態(2)	端緒的資本制工業経営		
4 企業経営の所有形態(3)	資本制単純協業的工業経営		
5 企業経営の所有形態(4)	資本制マニファクチュア工業経営		
6 企業経営の所有形態(5)	産業資本制機械化工業経営		
7 独占資本主義的企業経営形態(1)	独占資本主義的企業経営の成立		
8 独占資本主義的企業経営形態(2)	独占資本主義的企業経営形態		
9 国家独占資本主義的企業経営形態(1)	公企業経営		
10 国家独占資本主義的企業経営形態(2)	公私合同企業経営		
11 国家独占資本主義的企業経営形態(3)	国際的企業経営		
12 中小企業経営(1)	中小企業経営の概念		
13 中小企業経営(2)	中小企業経営の生成		
14 中小企業経営(3)	中小企業経営の個別的所有形態		
15 総括	まとめ、質疑応答		
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営原理特殊研究VI	3年次秋学期 (6セメスター)	2	森田 統一郎
<b>授業概要</b>			
資本主義企業の一般的本質・内容、その歴史的発展、さらに今日の企業における諸問題を解明するとともに、企業経営原理に関する内外の諸学説および現実の企業経営における管理の諸原則・基本原理を研究する予定である。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
企業の複雑な諸現象の内部にある本質・法則・傾向を究明することができる。			
<b>授業方法</b>			
テキストの輪読・解説・討論			
<b>成績評価方法・基準</b>			
レポート(70%)、平常点(30%)			
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>			
適宜指示する			
<b>質問への対応(オフィスアワー等)</b>			
オフィスアワー(火曜4限 14号館研究室)			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	講義の進め方、受講上の注意等	
2	企業経営組織論	概説	
3	作業組織(1)	作業組織の基本形態	
4	作業組織(2)	作業組織の基本形態	
5	管理組織(1)	管理組織の原則	
6	管理組織(2)	管理組織の基本形態	
7	管理の発展(1)	管理職能の独立	
8	管理の発展(2)	流通過程の管理	
9	テイラー・マネジメント(1)	生成、時代的背景	
10	テイラー・マネジメント(2)	科学的管理法の原理・本質・批判	
11	フォード・マネジメント(1)	生成、時代的背景	
12	フォード・マネジメント(2)	フォード管理の諸方策・本質・批判	
13	オートメーション・マネジメント(1)	生成、時代的背景	
14	オートメーション・マネジメント(2)	学説、企業経営に及ぼす影響	
15	総括	まとめ、質疑応答	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
問題意識を深めるようにして下さい。			